

平成23年度 第15回 役員会議事要旨

日 時 平成23年11月9日(水) 10時30分～11時24分

場 所 学長室

出席者 学長, 瀬口理事, 中島理事, 岩本理事, 宮崎理事, 緒方理事,
欠席者 なし

オブザーバー 後藤学長室長 他

○ 学長から, 前回の役員会議事要旨の確認依頼があった。

【 審議事項 】

(1) 総人件費改革対応について

学長から, 本学の総人件費改革の平成23年度及び平成24年度以降の当面の対応策について, 平成23年度は1%の人件費削減を継続するが, 平成24年度以降の総人件費改革の方向性は不透明である旨及び教員の退職者補充時期は10月以降を原則とする旨の説明があった。

また, 総務部長から, 本件については, 10月19日開催の拡大役員懇談会及び11月8日開催の大学運営連絡会で趣旨等を説明している旨及び当面の対応策については, 学長説明のとおりで平成24年度以降の対応策が示されるまでの暫定版である旨等の補足説明があり, 審議の結果了承された。

なお, 本件に関して, 宮崎理事から, 総人件費改革については, その都度の対応でなく, 長期的展望(考え方)のもとに基本方針等を示しておく必要がある旨の意見があった。

(2) その他

特になし。

【 協議事項 】

(1) 東日本大震災で被災された平成24年度佐賀大学志願者への検定料免除の特例措置について

学長から、本件について、東日本大震災被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るための要望等に基づき、本学にも特例措置の学則を制定する必要がある旨の説明があった。

また、瀬口理事から、全国高等学校長協会からの要望に基づき平成24年度学部入学者選抜試験に限り、本特例措置を実施するための学則を制定する旨や特例措置による収入減の影響及び本措置の実施時期等について補足説明があった。

また、入試課長から、本特例措置の趣旨、対象試験、措置内容、免除の対象者、申請方法、過去の本学への当該被災地域からの志願者数、他大学の取組状況、今後のスケジュール等について概要説明があり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会及び同評議会後の役員会で審議することとなった。

(2) 平成24年度学年暦及び年間行事予定表について

瀬口理事から、本件について、大学教育委員会において審議了承されている旨と提案のポイントとなる風水害及び入試対応の予備日は、平日のみに設定としている旨の説明があった。

また、大学教育委員会では、省エネの観点から、真夏での講義を減らすために予備日の土曜日設定の意見もあったが、組合との約束及び非常勤講師の日程上の都合等を勘案した結果、平成24年度は難しいと判断した経緯の説明もあり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会及び同評議会後の役員会で審議することとなった。

その後、岩本理事から、講義の必要時間数確保のため、風水害等以外の補講日設定について、意見及び質疑があった。

(3) 佐賀大学全学教育機構教員組織及び教育・支援組織の編成と教員配置の当面の方針（案）について

学長から、本件について、昨日開催の大学運営連絡会で検討され、基本的には、新たに各学部から1名以上の教員の配置換又は定数の振替が了承されている旨の説明があった。

また、瀬口理事から、本機構の教員組織における専任教員の構成員について詳細説明があり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会及び同評議会後の役員会で審議することとなった。

(4) その他

特になし。

【 報告事項 】

(1) 平成22年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

岩本理事から、本件について、10月27日付で国立大学法人評価委員会から、本学は、項目別の評価結果4項目すべてにおいて、「順調」である確定通知があった旨の報告及び評価結果のうち、教育研究等の質の向上の状況で、「佐賀大学学士力」に基づく3つの方針の策定、中長期ビジョン等に沿った全学教育機構の設置、大学独自の授業料免除特別枠の設定、地域との産学連携の実質化の推進、国際戦略構想など注目されている事項については、更に良い結果となるよう継続して取り組んでいただきたい旨の依頼があった。

(2) 平成23年度就職内定状況について（10月1日現在）

就職支援課長から、本件について、対前年度同時期比の学部で4.8ポイント減、大学院で4.8ポイント増、総計で3.0ポイント減となっている旨及び各学部等における対前年度比の増減等の内容について、詳細報告があった。

また、学長から、総計で昨年度比3.0ポイント減となっているが、本年度は、前年度より就職希望者数の分母数が増加しているため、実質的な内定率は増加している旨と会社訪問した企業の内定率は増加傾向にある旨等の報告があった。

その後、監事及び理事から、進路未定者の内訳、大学院生の内定率増加等について質疑があった。